

学校 × 社協 × 地域

= “多様なカタチの福祉学習”

～コロナ禍での多様なつながり方を考える～

「多様なつながり」？「ICT活用」？

“コロナ禍”において、オンラインをはじめとするICTの活用が学校・社協・地域の多様なつながり方のひとつとして注目されています。すでに、障がい者への支援ツールとして活用がすすんでいる「ICT」の実践現場から見てきたことは？今こそ、『福祉学習』について共に学びませんか？

新しい学習指導要領には、子どもたちの生きる力を育むために、「社会に開かれた教育課程」を目指すことが示されており、「教育現場と地域の連携」が注目されており、私たちが推進する『福祉学習』は、重要な役割を担っています。

日時

令和3年 **12月18日** (土) 13:30～16:15

会場

愛媛県県民文化会館 3階「第8会議室」

(松山市道後町二丁目5番1号)

裏面へ

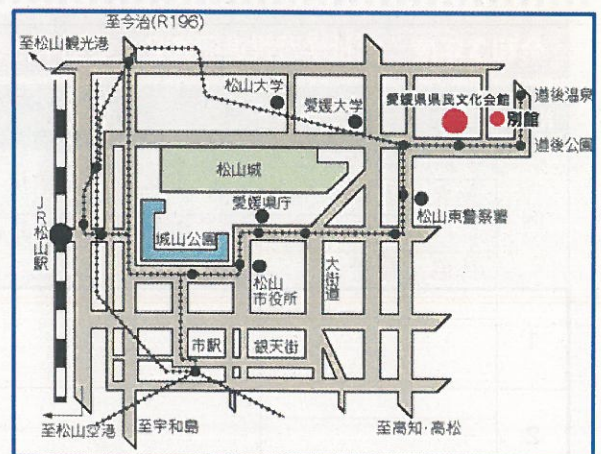
対象

- 小学校・中学校・高等学校等の教職員
- 学校教育関係者（教育委員会等）
- 市町社協の福祉学習担当者
- ボランティア・NPO団体職員
- 「福祉学習」に関心のある方 等

参加無料

【お願い】

- ◎当日はマスクをご着用ください。
- ◎下記の方は参加をお断りします。
 - ☑発熱や風邪症状等の体調不良がある方
 - ☑2週間以内に感染拡大地域から帰県した方



●会場に無料駐車場はありませんので、有料駐車場又は、公共交通機関をご利用ください。

主催

社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会

(愛媛県ボランティア・市民活動センター 福祉学習プロジェクト委員会)

後援

愛媛県教育委員会

プログラム

『福祉学習』：本センターでは、福祉教育・ボランティア学習を『福祉学習』と表現（呼称）しています。

時間	分	内容
13:00~13:30	30	受付
13:30~13:35	5	開会・オリエンテーション
13:35~14:25	50	講義（オンライン） 「障害のある学生に対するICTを活用した修学支援」 【講師】筑波大学 人間系障害科学域 助教 大村 美保 氏
14:25~14:35	10	休憩
14:35~15:35	60	事例発表（@30分×2団体） ①「ICTを活用した就労支援と心のバリアフリー推進」 特定非営利活動法人ぶうしすてむ 理事長 川崎 壽洋 氏 ②「体験でしか得られないものってなんだろう？」 松山市ボランティア活動体験学習研究会「通称きらり」会長 金村 厚司 氏 【コーディネーター】新見公立大学 健康科学部地域福祉学科 教授 高杉 公人 氏
15:35~16:05	30	質疑応答
16:05~16:15	10	まとめ・コメント 筑波大学 人間系障害科学域 助教 大村 美保 氏 新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科 教授 高杉 公人 氏
16:15	-	閉会

※本県の新型コロナウイルス警戒レベルにより、オンライン等に変更する場合があります。

【申込先】愛媛県ボランティア・市民活動センター（担当：宮崎・多田）



愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課内

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館

TEL 089-921-8912 / FAX 089-921-5289

Eメール vsc@ehime-shakyo.or.jp

令和3年度 福祉学習推進研修会 参加申込書

◆FAX又はメールで上記までお申込みください。締切：12月13日（月）
◆本書で取得した個人情報は、本研修会以外の目的で使用しません。

No.	ふりがな 氏名	所属名	職名	TEL（職場等）	備考（配慮事項等）
例	きょういく たろう 教育 太郎	〇〇市立△△小学校	教諭	XXX-XXX-XXXX	車いす使用
	しゃきょう はなこ 社協 花子	〇〇市社会福祉協議会 地域福祉課	主事	XXX-XXX-XXXX	盲導犬同行
1					
2					
3					

<学校・社協・地域の皆さんへ>

この申込書1枚で、色々な方のお申込みができます。ぜひ、お近くの学校（先生）・社協（福祉学習担当者）・地域（住民・ボランティア・NPO等）に声を掛けていただき、一緒にお越しください！
もちろん、感染対策はお忘れなく♪

